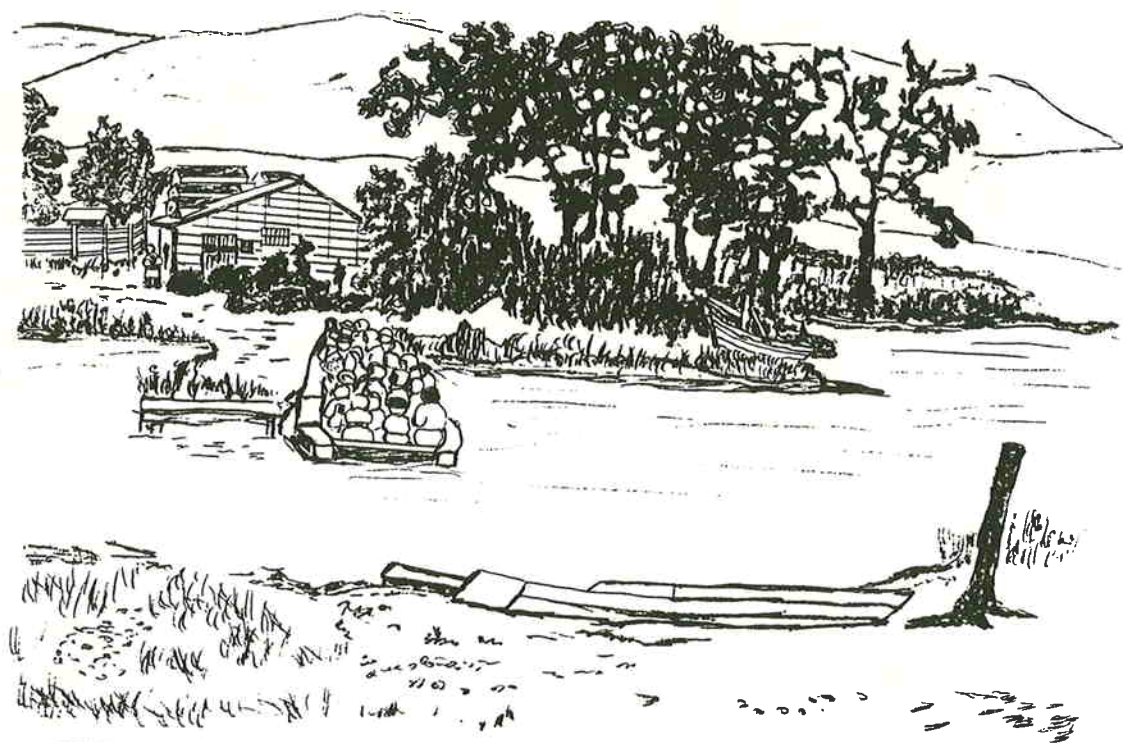
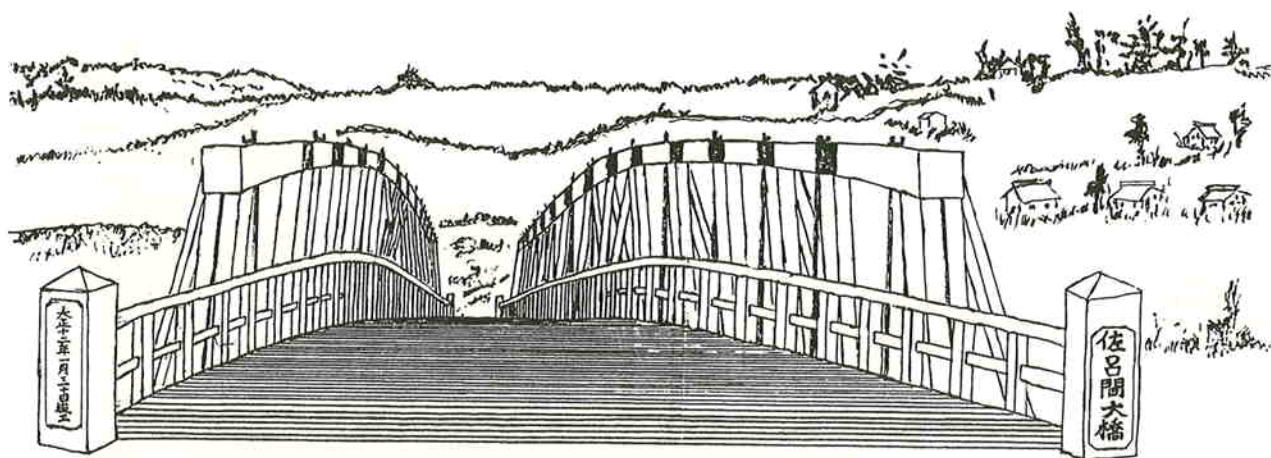


## 佐呂間大橋元は渡船場 (永久橋になる前の変化)



114. 浜佐呂間の佐呂間大橋が出来る前の「渡船場」。 (現在の大橋のあるところより少し上手にあった。 (大正初期)

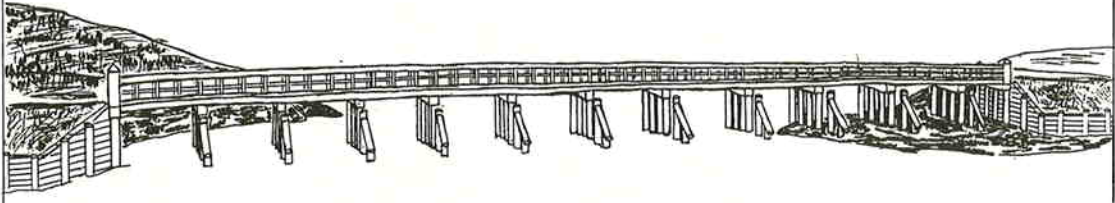
## 佐呂間大橋吊橋の頃の正面の図



# 佐呂間大橋

昭和23年の撮影写真を見て描いた

写真は橋の構造が判りづらいので絵に描いて見たのでした

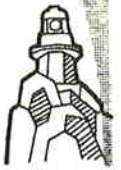


## 欄干にシンデレラの馬車のレリーフ

# オホーツク

# 新佐呂間大橋が完成

# 住民ら晴れて渡橋式



佐呂間大橋の渡り初めをする大川さん、杉森さんの家族



## 国道の新ルートも開通

【佐呂間】町内浜佐呂間の佐呂間別川に架かる佐呂間大橋の架け替え工事が終了し、四日、大勢の地域住民らが出席して渡橋式が行われた。同時に海められていた国道238号の改良工事も終わり、同日午後一時から、新ルートが供用開始された。

網走開建が一九九〇年から、道路、橋合わせ約二十六億円で実施した事業。新橋は、旧橋のすぐ川上に架けられた全長百八十一メートル片側一車線。

橋の四つの親柱上には、町の名産・カボチャにちなみ、ハロウィンの仮面をデザインした彫刻を設置した。

ほか、欄干にはシンデレラの馬車のレリーフ、照明灯にはホタテをイメージした町開基百年シンボルキャラクターを採用した。さらに、四枚の橋名板には、佐呂間中三年、佐々木真紀さんから町民四人の書体を使うなど、地域の特徴を前面に出した。

また、これまでの国道238号は、浜佐呂間市街で半径五十メートルの急カーブとなっていたことから、橋の部分を含めて一・六キロの部分を含めて、市街地を回す区間で、市街地を回す新道を作成。旧道の車道幅九メートルに対し、新道は十一メートルと広くなり、歩道が両側に付いたほか、紋別側の道路こう配も緩和された。

この日は浜佐呂間公民館で、修繕、開通式が行われたあと、橋上で渡橋式。関係者によるテープカットに続き、地元の大川長四郎さん(ハシ)と杉森勇さん(ハシ)の夫婦二世帯一組を先頭に渡り初めをして、橋と道路の完成を祝った。